土曜日（平成１４年１１月 16 日)、子どもたちと公民館で将棋を指しました。

楽しい一日でした。

久しぶりに子どもと将棋をしました。最近、人間と対局しなくて、コンピュータ（インターネット）とばかり対戦していましたので、新鮮な気持ちで対局できました。

「どうして将棋をおぼえたの」と子どもにたずねたところ、おじいちゃんから教えてもらったとの返事（２名とも）がありました。私（５１歳）も、昔近所の大人たちから教えてもらいました。
そのときの事は細かいことは覚えていません。でも、今こうして自分の趣味（履歴書等に堂々？と記入しています…本当はそれしか書くことがないものですから）として将棋をさせるので、感謝しています。いろいろな将棋大会に参加したとき、子どもと対局することが結構あります。よく強い子どもに負けます（これでも三段…弱い三段でしょうが)。

思い出の対局

1. 佐世保市の強い女の子…棒銀（戦法）がとくいでした。
2. 中学生日本一の男の子（大野城市在住、今は高校生）
   ２年間、正月に角落ちで対局しました。(一勝一敗)
   （もちろん私が角を落としてもらったのですが、相手は強い四段)

特典？

大学にも将棋で入れます（立命館大学の一芸入学制度)。
私の知り合いの人（中学、高校日本一になった人）です。

今日の対局は将棋大会のときと違って別の楽しみ方が出来ました。
子どもはすぐ強くなれます。大人は（二十歳以上）なかなか強くなれませんが、子どもは半年あれば初段ぐらいにはなれます。頭のスポーツ？は若い人が強いのです。

おじいちゃんと対局したいな！

２００２．１１．２０に書く